

平成 29 年度 卒園の保護者から（園評価）

<評価>

幼かった子どもたちが今、それぞれの思いを壇上で立派に発表し、お友だちとまっすぐに前を向いて歌う姿を見て、目頭が熱くなりました。

私事で大変恐縮ですが、我が家には3人の娘がおりまして、現在中学1年生の長女がまだ10カ月の頃、5年生の次女は6か月、そして末っ子の梨珠が10カ月で入園してから今日まで13年間こちらにお世話になり、たくさんのお話を教えて育てて頂きました。娘も成長しましたが、同時に私たち親もいろいろなことを学ばせて頂きました。

入園当初、初めて親元を離れて、集団の中に入ることに不安でいっぱいだった子どもは、登園しても私にしがみついて離れようとせず、泣き止まない我が子を後ろ髪を引かれる思いで先生にお預けし、職場へ向かったことを思い出します。慣らし保育の2時間がとても長く感じられ、早めに迎えに行くと窓から覗くと、泣き疲れて先生の背中で眠っていました。そんな子どもたちも園で過ごすうち、大好きな先生方やお友だちに恵まれて、いつしか幼稚園に通うことが楽しみとなり、一時期は父親が迎えに行っても「帰らない」と先生にべったりくっついているほどでした。

いつの間にか、できなかったことが出来るようになっていて、「誰に教えてもらったの?」と尋ねると、いつも先生の名前が出てきます。家庭にいる時よりも充実した時間を過ごし、丁寧な関わりをしていただいていることを、娘の話や生き活きとした表情から感じていました。子どもの口ずさむ歌で季節の移り変わりを感じ、持ち帰る作品で家庭でも温かな行事を行うことができました。今でも節分には、幼稚園で作った紙袋の鬼の面を父親がかぶって、にぎやかに豆まきをするのが恒例となっています。

慌ただしい毎日の中で、体調の変化に気づかず登園させたこともありました。39°Cの熱でマラソンをするところでしたが、「様子が少し違ったので。」とその前に気づいてくださいました。子どもたちが大きな病気やけがをせずに登園できたことは当たり前なことではなく、園にいる長い時間を先生方が細心の心配りをしていただいたおかげです。我が子の気になる面や短所だと心配になることでも、先生方はプラスに子どもの長所として捉えていただき、よい方向に導いてくださいました。子どもたちの可能性を信じて、熱心に関わってくださる姿がとても心強く、子育てや仕事、家庭のことで落ち込むことがあっても、先生方の存在で、子育ての悩みが半分になり、また喜びは2倍にも3倍にもなり、いつも私たち親の大きな支えになっていました。

整ったすばらしい環境の中で、大好きな先生、お友達に支えられて、様々なことに挑戦し、やり遂げてきたこと、一緒に喜び、褒めて認めてもらったこと、そして大好きな先生に時には真剣に叱ってもらったことが経験となり、これから学校に入学し、やがて社会に出ていく子どもたちの大きな力になることと思います。

明るい挨拶、元気な歌声、かわいい笑い声が絶え間なく響き渡ったこの園舎ともお別れです。子どもたちは、先生方にいただいたたくさんのお話と愛情を宝物にして、これから大きく羽ばたいてくれるものと思います。

最後にアリス子どもの家幼稚園の実り多き今後と、園長先生、副園長先生をはじめ諸先生方のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。